



第2回かながわ教育学講座

令和3年8月29日、第2回かながわ教育学講座が開催されました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下のため、今回も拡大防止の観点からオンラインでの実施となりました。第2回教育学講座のテーマは「神奈川県の求める教職員像」です。神奈川県立総合教育センター 猪飼教育事業部長による講義のあと、初めてのグループ活動が行われました。

講義「神奈川県の求める教職員像」

講義では、講師がこれまで出会った「恩師」とのエピソードや、前回のカレッジ長の講話で話のあった「自分らしさや持ち味を生かす教師」ということにふれ、「教員として自分らしさや持ち味をどのように生かすか」について考えました。

また、神奈川県の教育施策の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」より、神奈川県が子どもたちに「たくましく生きる力」「思いやる力」「社会とかがわる力」の三つの「人間力」を育成することを目指していること、学校を「子ども一人ひとりの個性と能力を大切にし、ともに成長する場」と捉え、指導力のある教職員の確保・育成を目指していること、教員に求める資質・能力として次の3つがあることなどが説明されました。



○教員に求められる資質・能力

- ・教職員としての人格的資質・教職への情熱
- ・課題解決力(子どもや社会の変化による課題の把握と解決)
- ・授業力(子どもが自ら取り組む、わかりやすい授業の実践)

初めてのグループ活動

講義の後は、リモートによる初めてのグループ活動が行われました。オープンコースは校種・教科の異なる受講者同士で、チャレンジコースは同じ校種・教科の教員を目指す受講者同士で構成されています。それぞれグループの仲間やグループ担当者(各校種の校長を経験した教育指導員や教育指導専門員)と自己紹介を行い、その後、小グループに分かれて、「自分の目指す教職員像」について話し合いました。



受講者の感想

○初めてグループの人たちと話し合う活動ができて、最初は緊張しましたが、とても良い学びになりました。それぞれ自分の意見を共有することで、自分の頭では考えていなかったことを知ることができ、良い学習になりました。

○お互いに素直に意見交換できる雰囲気があって、初対面同士でも話し合いやすかったと思います。次回以降も、参加が楽しみに思えました。